

上下水道部長マニフェスト（評価及び検証）

重点課題 ①

難易度

自己評価

水道管路・施設の効率的な整備、更新の推進



（評価検証）平成28年12月31日

★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

- ・水道管路の老朽化、耐震化対策として、緊急遮断弁設置計画関連工事の円明第一配水池からの流出管の更新を含めた水道管路の更新・整備を行います。
- ・危機管理対策として、自己水の安定確保を図るため井戸の耐震診断を行います。
- ・安定した配水を行うため機械及び電気設備の更新を行います。

取組結果・実施状況

- ・円明第一配水池からの流出管を含む水道管路の更新・整備を行いました。
- ・井戸の耐震診断を行いました。
- ・機械及び電気設備の更新を行いました。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・水道管路の約3kmの更新を行います。
- ・耐震診断が必要な玉手浄水場内の1号井戸、2-1号井戸の耐震診断を行います。
- ・新安堂配水池の計装制御盤と田辺配水池の配水流量計の更新工事を行います。

取組結果・実施状況

- ・水道管路、約2.9kmの更新となる見込みです。
- ・9箇所の井戸の内、鉄筋コンクリート構造のため耐震診断が必要な1号井戸、2-1号井戸の耐震診断を行いました。
- ・新安堂配水池の計装制御盤と田辺配水池の配水流量計の更新工事が完了する見込みです。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

- ・平成 28 年度末では、管路延長約 256kmの内約 97 kmが耐震化され耐震適合化率は約 37.9%となります。
- ・2 個所の井戸につきましては、地震発生時における安全性の検証ができます。
- ・新安堂配水池及び田辺配水池の配水区域における給水の安定性が向上します。

取組結果・実施状況

- ・平成 28 年度末で、管路延長 256 kmの内約 97 kmが耐震化され耐震適合化率は約 37.9%となる見込みです。
- ・2-1 号井戸は耐震基準に適合していましたが 1 号井戸は、耐震基準を満たしていないため補強が必要と診断されました。
- ・新安堂配水池及び田辺配水池の配水区域における運転管理が強化され給水の安定性が向上する見込みです。

重点課題 ②

難易度

自己評価

公共下水道整備第7次五箇年計画の推進



★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

- ・汚水整備の推進につきましては、平成32年度末の下水道人口普及率87.6%の目標に向け、未整備区域の汚水整備を進めます。
- ・平成30年度完成を目標に、市民が大雨時、安全に避難できるように、浸水被害の危険レベルを示す内水ハザードマップ作成の準備を進めます。
- ・平成25年7月から平成35年3月末までの10年計画において、概ね300基の浄化槽の設置及び維持管理を行い、生活排水対策を進めます。

取組結果・実施状況

- ・平成32年度末の下水道人口普及率87.6%の目標に向け、計画通り整備を進めました。
- ・平成30年度に内水ハザードマップを作成するための準備として、今年度は既設管調査を完了する見込みです。
- ・平成25年度から平成27年度で設置した60基の浄化槽の適正な維持管理を行い、平成28年度においては、新たに10基設置の見込みです。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・平成28年度において約5ヘクタールの汚水整備を行います。
- ・内水ハザードマップ作成に必要となる柏原地区の既存管調査を行います。
- ・平成28年度は10基の浄化槽の設置を行います。

取組結果・実施状況

- ・約5ヘクタールの汚水整備が完了する見込みです。
- ・柏原地区の既存管調査は完了する見込みです。
なお、国分地区の既存管調査は既に完了しております。
- ・平成28年12月末時点で8基の浄化槽を設置しました。
今年度中に更に2基の設置を行い、合計10基設置の見込みです。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

- ・汚水整備を進めることにより、平成28年度末では、人口普及率約85.5%となります。
- ・既存管調査をすることにより、内水ハザードマップ作成に必要な浸水シミュレーションの準備が整います。
- ・平成25年7月から平成28年度末までの4年間で、合計70基の浄化槽設置ができます。

取組結果・実施状況

- ・平成28年度末では、人口普及率約85.5%を達成する見込みです。
- ・既存管調査の結果をもとに浸水シミュレーションの準備が整う見込みです。
- ・平成25年7月から平成28年度末までの4年間で、合計70基の浄化槽設置の見込みです。

(評価日) 平成29年2月6日

市長評価

(B) 奨励 : 頑張って目標を達成し、満足できる結果である。さらなる向上を目指してもらいたい。

市長のコメント

- ・水道料金については、アセットマネジメントの観点から様々なシュミレーションを行うこと。
- ・府営水の受水量について、継続して企業団と協議を行うこと。